

プロジェクト名: ロボットシステム基盤プロジェクト

(*Field and Life Robotic System Platform Project*)

研究代表者 武藤伸洋 (機械工学科 教授)

目的 (何のために作るのか. 具体的に)

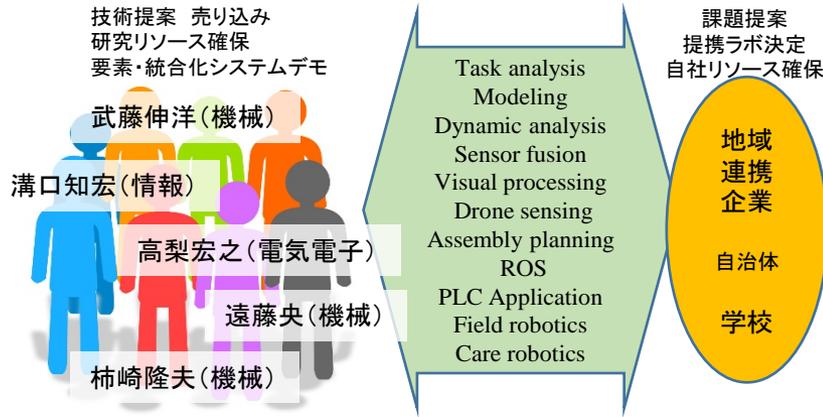
工学部が保有するロボット関連技術、すなわちモデリング&デザイン、機構ダイナミクス解析、画像含む状態センシング、制御、ソフトウェア開発、無線ネットワークおよびシステムインテグレーションなどの研究者が一体となって技術基盤を整備し、若者にも魅力ある工学部を対外的にアピールしていく。これによりイノベーションコストプロジェクトなどへ参加を希望する地域企業を強力に後押しをするとともに、国内先進企業と連携し、3年を目途に本分野における工学部発のベンチャー起業を目指す。

背景 (意義、社会や技術との関わり)

工学部の位置する福島県でもIndustrie4.0へ向かう国の施策と連動した次世代産業スキームへのシフトが望まれている。とりわけ焦眉の急である廃炉関連では地域でのロボット産業育成が不可欠とされ、県を介して国からイノベーションコストPJだけでも多額の投資が投下されている。しかしその受け皿となるべき地域の中核的な企業におけるロボットシステム技術の基盤はきわめて脆弱であり、このままでは未来に渡り県外企業に任せるしか道はないとも言われている。

推進体制

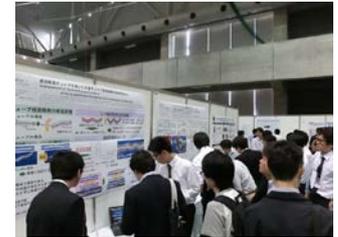
(学内、学外メンバとその連携と当面の分担など)



具体的な活動予定 (この1年とその先)

第1期:

- 工学部研究会での出前紹介
- ロボ学会、産学官連携ほかでの共同紹介、HPおよびFBアップ
- 福島県ロボフェスタへの共同出展
- 各種企業連携セミナーへの出前出講
- 国内外研究者の招聘



第2期:

- イノベーションコスト協議会とのPJ
- 各種企業とのテーマ別情報交換
- 新規事業テーマとの研究マッチング
- 共同研究テーマの個別すり合わせ



予定とマイルストーン

ここまでのゴール

H29.9

第1期

H30.3

第2期

H31.3

▲ 合同技術展望シンポ

▲ 共同研究企画発表